

218人が学校生活を開始

4月8日、町内の小学校・中学校で入学式が行われ、新入生小学校105人（西伯小学校76人、会見小学校29人）、中学校112人（法勝寺中学校78人、南部中学校34人）が学校生活を開始しました。

西伯小学校では、新一年生が一人ひとり名前を呼ばれると、大きな声で返事を返し、後藤弥校長と握手をして席に着きました。後藤校長は「毎日元気に学校へ来てください」と呼びかけ、在校生は「みなさんの入学を待っていました」と新一年生を歓迎しました。



在校生と手をつないで歓迎を受ける新入生

菜の花まつり



菜の花畑で演じられた荒神神楽

福成地内で4月6日、菜の花まつりが開催されました。

当日、約6haの菜の花畑は五分咲きほどでしたが、天候に恵まれ、朝から多くの家族連れが菜の花の摘みとりや写真撮影などを楽しました。

午後からは、菜の花畑の中に作られたステージで県立日野高等学校郷土芸能部による荒神神楽「八重垣能」が上演され、訪れた人たちは八岐大蛇を退治する須佐之男命へ「頑張れ」と声援を送っていました。

韓国男子プロゴルフツアー開催

荻名のグリーンパーク大山ゴルフ倶楽部で、4月4日から7日まで日本初開催となる韓国男子プロゴルフツアーが行われました。

大会には多くのボランティアが運営などに携わり、町内からも25人が参加して、会場案内やマシーン（プレー）の進行を助ける役として活躍しました。大会期間中、町内外から約2千人が観戦に訪れ、韓国からは選手や関係者ら約3百人が来日しました。大会を運営した李重明会長は「来年はもっと盛大に開催できると確信しています」と次回の開催に意欲を見せました。



優勝を喜ぶ李承鎬選手（中央）と李重明会長（左）、平井鳥取県知事（右）

さくらまつり



昔話を題材にした飾りに見入る親子

4月1日から15日まで南部町さくらまつりが開催され、ウォーキング大会や芸能大会など、さまざまな催しが行われました。

「一式飾り」が行われた4月12日と13日には、法勝寺川土手の桜も見ごろを迎え、約6千人が法勝寺を訪れました。飾りは法勝寺宿内の民家の軒先や車庫などに28点が展示され、観光客は宿内を一回り見物した後、「もう一度あの飾りが見たい」と気に入った飾りの場所へ戻るなどして、工夫を凝らした伝統行事を楽しみました。